

# 教師ノート

日付	2022年 8月7日
単元	使徒の働き・1
テーマ	御霊に導かれた伝道
タイトル	聖霊にみちびかれて伝道したピリポ
テキスト	使徒 8:26-40
参照箇所	イザヤ 53 章、使徒 8:4-25
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ローマ 10:15
AG 日曜学校教案参照箇所	幼 1 巻 1 題 13 課、中 1 巻 3 題 12 課

## メモ(情報・例話など)

ステパノの殉教をきっかけに福音宣教の舞台は、エルサレム教会から外地へと展開していきます。「エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで・・・(1:8)」というイエスの約束のとおりであり、またペテロが「主の名を呼ぶ者は、みな救われる(2:21)」と言ったとおりです。メッセンジャーは使徒の働き8:4~25を読んで、サマリヤ伝道の展開のようすを知りましょう。聖霊に導かれた弟子(証人)たちによって、福音が世界に広がったということを伝えましょう。このメッセージを通して、子どもたちが、「聖霊に遣わされてみことばを家族やお友だちに伝えたい!」、「聖霊の導きに素直に聞き従いたい!」という決心ができますように。

## □導入

興味を起す質問をしましょう

例:いよいよ、イスラエルの国境を越えて、福音が外国に伝えられていきます。聖霊さまはどんな方法で外国にみことばを伝えたのかな? 電話したのかな? それとも手紙?

## □ポイント1 ピリポは聖霊に導かれて、エチオピアの宦官に出会いました

聖霊はピリポに「エルサレムからガザに下る道に出なさい」と言われました。そこは荒野でした。ピリポは聖霊の導きに直ちに従いました(26節の「主の使い」と29節の「御霊」は、ほとんど区別する必要はないと考えられています)。そこには、エチオピアの宦官がおり、彼はエルサレムでの礼拝を終えて、馬車で国へ帰るところでした。(エチオピアは、現在はアフリカの国のひとつですが、この時代は現在のスーダンをも含めた広い地域を指しました。)**「宦官」とは、宮殿や支配者の後宮(女王や王妃のいる宮)で仕えた男性の家令のことです。だれがわざわざ荒れ果てた土地に行って、外国人に伝道しようとするのでしょうか。ピリポはユダヤ人と深い関係があるサマリヤ人には既に伝道していましたが、このエチオピアの宦官のように「全くの外国人」への伝道は初めてでした。昔のユダヤ人は、自分たちだけが神さまに選ばれていて、外国の人が救われるとは思っていませんでした。しかし、御霊がピリポに「近寄って、あの馬車と一緒に行きなさい」と言われました。ピリポがエチオピアの宦官に伝道したのは、聖霊の導きだったのです(使徒1:8も参照)**

☆「行きなさい」と言われて、荒れ果てた砂漠の道を歩くピリポの気持ちを考えてみよう。

## 📖メッセンジャーの知識

- 1)エチオピアの宦官はユダヤ人の神を礼拝していましたが、律法によってユダヤ教徒となることは許されていませんでした(申命記23:1)。この時代の宦官の多くは去勢されていました。
- 2)ピリポはステパノと同様、エルサレム教会の管理運営のために選ばれた7人の指導者のひとりです(使6:5)。12使徒のピリポではありません。

## □ポイント2 ピリポは、聖書のみことばから、宦官にイエスさまのことを伝えました

エチオピアの宦官はイザヤ書のイエスの十字架の受難と救いについての預言の箇所を読んでいました(イザヤ53章)。しかし彼にはその意味がわかりませんでした。そこで彼は、ピリポに「あなたは読んでいることが分かりますか」と話しかけられた時、聖書を教えて欲しいと頼みました。ピリポは、質問された箇所から始めて、彼に聖書の説明をし、主イエスによる救いを伝えました。すごいタイミングです。まさに聖霊の導きで、ピリポは伝道できたのです。また、福音を伝える時に、聖書から適切な聖句を用いて説明できることは、非常に大切なことです。

☆みんなで考えよう。あなたは、お友だちに「イエスさまのことを教えて」と言われたら、どうやって応えますか？どんな暗唱聖句を思い出しますか？

## □ポイント3 聖霊さまがピリポを通して働かれ、いよいよ外国人に救いが広がりました

おそらくピリポは、福音を伝える中で、ペテロの説教と同様に「悔い改めなさい。そして、それぞれ罪を赦していただくために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう(2:38)。」ということ伝えてでしょう。そうして道を進んでいくうちに、水のある場所に来ました。エチオピアの宦官は、洗礼を受けたいと申し出ました。それでピリポは彼に洗礼を授けました。神を礼拝しながらも、ユダヤ教徒になれなかった外国人が、真の救いを受けたのです。

ピリポ自身は、水から出たところで、主の霊に連れ去られました。このことから、聖霊がピリポを導いて異邦人に福音を伝えるために用いたということが、ハッキリとわかります。目的が達成されたので、聖霊はピリポを、他の地へ派遣したのです。

### 📖メッセンジャーの知識

- 1) 詳しい経緯はわかりませんが、その後ピリポはアゾトに現れたと書いてあります。アゾトは、ガザから約30km離れた町です。
- 2) 37節は、有力な写本にないため、後に挿入されたものと考えられているので、欄外に記載されています。

## □結論 聖霊さまがピリポを導かれ、福音が外国の人にも伝わっていききました

### 暗唱聖句を読み上げます

ピリポが伝えなかったら、このひとは信じなかったし、外国に福音は広がりませんでした。しかし聖霊がピリポを遣わさなかったら、ピリポはこの外国人に伝道しなかったでしょう。イエスさまは、あなたにも誰かに福音を伝えて欲しいと願っておられます。聖霊さまがだれに伝えればいいのか、いつ伝えればいいのか教え導いてくださいます。

## □適用 (聞き手にふさわしい適用を投げかけましょう)

例1) あなたもピリポのように、聖霊さまに導かれて、イエスさまを伝える人として用いられたいと思いませんか？あなたの周りにいるほとんどの人は、イエスさまを知らないでしょう。いったいどの人から伝えればいいのか、全員に伝えなければいけないのだろうかと迷ってしまうかもしれません。その中で、「この人(たち)に伝えなさい！」と聖霊さまに導いてもらいたいと思いませんか？

例2) あなたも、聖霊さまの導きに聞き従っていきましょう。導かれ方は色々で、祈りの中で示される場合もあれば、困っている人の必要を見せてくださる場合もあります。導かれたら、素直に従い、その人に伝えられるチャンスと勇気が与えられるように祈って準備しましょう。また、ピリポのように、聖書をよく学んでおきましょう。聖霊さまが助けてくれるよ。

例3) もしかしたら、もう以前から「この人に伝えなさい」と導かれているのに、御霊の導きを無視してしまっている人はいませんか？面倒くさがったり、否定されるのを嫌がったり、バカにされるのを怖がったりしていたことを悔い改めて、もう一度、新たな決心をしましょう。聖霊さまが必ず助けてくれるよ。